

保護者の皆様へ

学校2学期制に関するアンケートの結果について

学校2学期制検討委員会

大暑のみぎり、皆様にはいよいよご清栄のことと慶び申し上げます。

さて、小田原市では、全小中学校において、平成18年度から2学期制を実施しており、2学期制を実施し5年目を迎えました昨年度に、今後の2学期制のあり方を検討するために、学校2学期制検討委員会を立ち上げてまいりました。

保護者の皆様におかれましては、平成23年1月に、現在の学校2学期制の状況を把握するための「学校2学期制に関するアンケート」（抽出により実施）にご協力いただき、ありがとうございました。

その「学校2学期制に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

なお、今後、学校2学期制検討委員会において、このアンケート結果を含め現在の様々な状況などをもとに、今後の2学期制のあり方を検討してまいります。

## 平成22年度 学校2学期制アンケート結果の概要

### 1 目的

平成18年度から実施している学校2学期制の状況を把握、検証し、今後の学校2学期制のあり方について検討するために、児童・生徒、保護者、教職員を対象に学校2学期制に関するアンケートを実施する。

### 2 アンケートの実施期間

平成23年1月12日（水）～1月18日（火）

### 3 調査対象

- (1) 各小学校4年生～6年生の1学級の児童
- (2) 各中学校1年生～3年生の1学級の生徒
- (3) 小中学校全教職員
- (4) 保護者 対象となった児童・生徒の全保護者

### 4 配布数及び回収数、回収率

回答者	小学4年生 ～6年生	小学4年生 ～6年生の 保護者	小学校 教職員	中学1年生 ～3年生	中学1年生 ～3年生の 保護者	中学校 教職員
配布数（枚）	2279	2260	561	1341	1299	327
回収数（枚）	2244	1917	553	1311	1082	319
回収率（%）	98.5	84.8	98.6	97.8	83.3	97.6
内自由記述率（%）	—	29.5	32.7	—	30.9	47

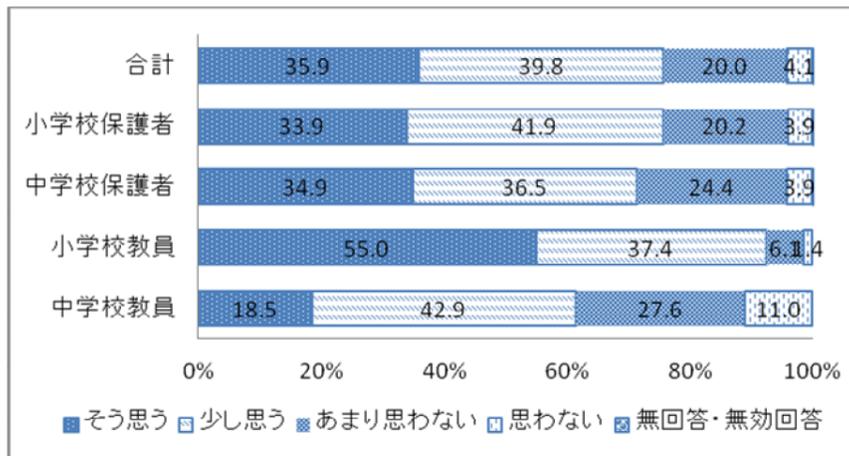
### 5 アンケートの結果

- ・それぞれの対象への質問事項
- ・グラフによるアンケート結果
- 無回答・無効回答については、数値標記なし
- ・グラフから読み取れること

#### A 2学期制の定着の度合いについて

保護者；学校2学期制が定着していると感じますか。

教職員；学校2学期制が定着していると感じますか。



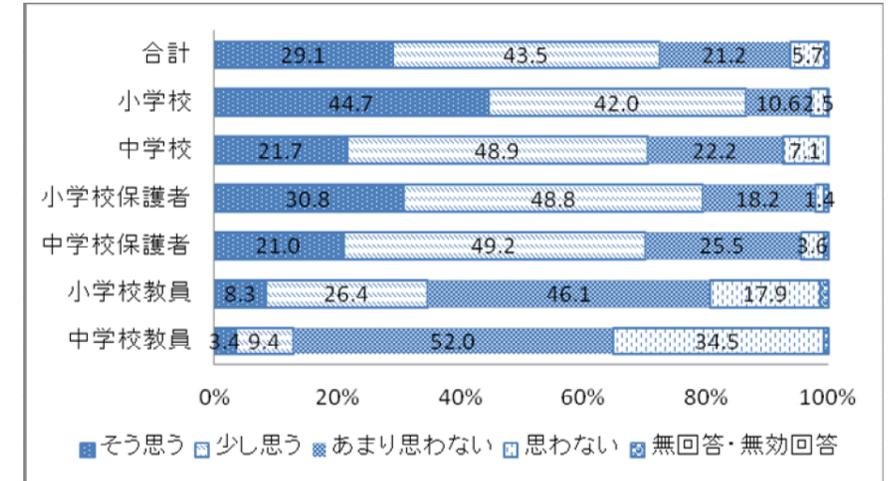
5年を迎えた現在、2学期制については、全体の75%が定着している、と感じている。しかしながら、小学校の教職員と中学校の教職員の感じ方に大きな違いがみられる。

#### B 教職員と児童・生徒と関わる時間について

児童・生徒；学校の先生は、子どもたちとたくさん関わってほしいと努力していますが、先生と十分関わる事ができていますか。

保護者；学校は、授業時間を有効に活用したり、部活動やお子さんと接する時間を設けたりして、お子さんと関わる時間を大切にしていると感じますか。

教職員；増えた授業時間を有効に活用したり、放課後の時間に子どもと接する時間を設けたりして、子どもと関わる時間が増えたと感じますか。



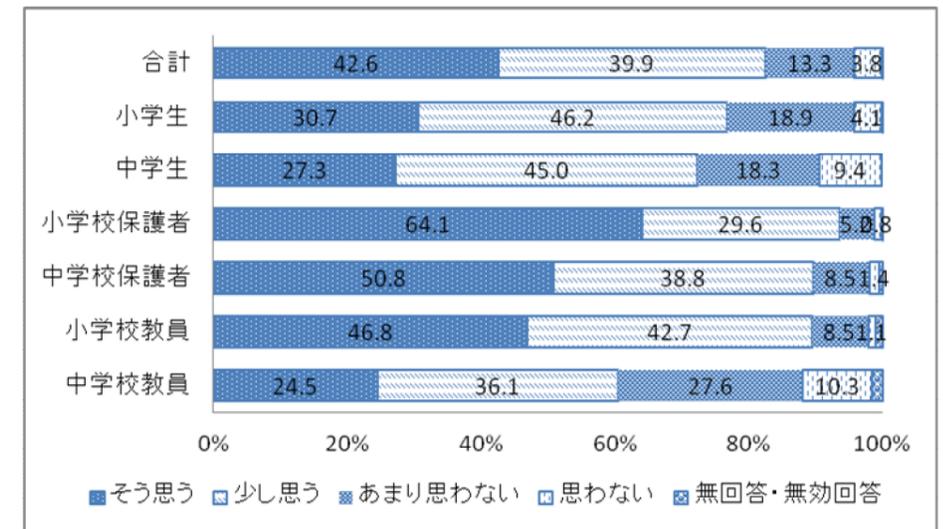
教職員の子どもと関わる時間については、70%以上の児童・生徒や保護者は、教職員が子どもとのかかわりを大切にしていると感じている。一方、教職員は子どもと関わる時間が増えたと感じていない。

#### C 長期休業の教育相談、面談について

児童・生徒；夏休み前や冬休み前に通知表がありません。そのかわり、学校は、教育相談を行ったり、通知表以外の資料を作ったりして、学校での様子をお知らせしていますが、自分のことを知るために役に立っていると感じますか。

保護者；学校は、長期休業に入る前または休業中に、お子さんの学習の様子や生活の様子をお伝えするために教育相談（面談、面接）などの工夫を行っていると感じますか。

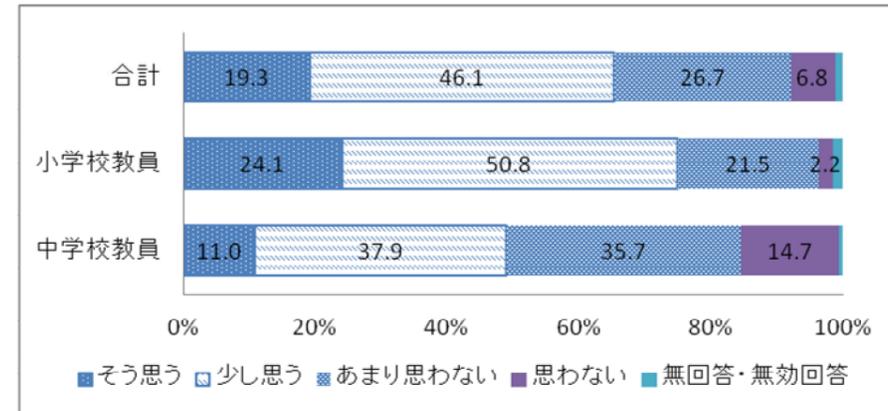
教職員；長期休業前の通知表がないことに対して、子どもの学習の様子や生活の様子を保護者に伝えるために教育相談などが意義あるものとして行われていますか。



全体の80%は長期休業の教育相談、面談などを有効な取り組みであると  
感じている。特に、小学校において高い評価を得ている。

#### D 学習の連続性について

教職員；長い学期を有効に活用して、学習の連続性を意識した授業を  
目指していますか。



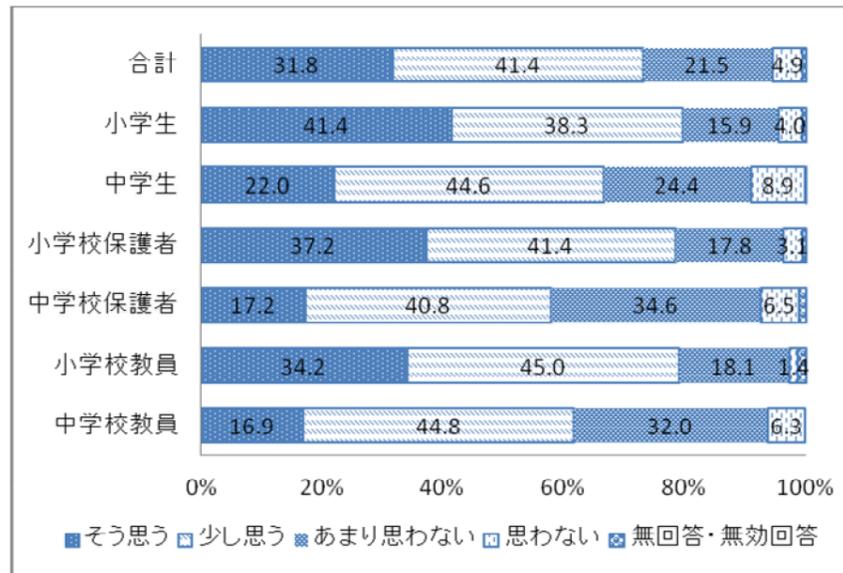
小学校の75%程度の教職員が、長い学期を有効に活用した学習の連続性を意識した授業を行っている。一方、中学校の教職員の50%近くが、長い学期を有効に活用した学習の連続性を意識した授業を行っていない。

#### E 長期休業中の取り組みについて

児童・生徒；学校は、夏休み中にサマースクールや学習相談、教科相談などを  
行っていますが、役に立っていると思いますか。

保護者；学校は、お子さんに向けて、サマースクールや学習相談、教科  
相談などを開催して学期途中にある長期休業を有効に活用し  
ていると思いますか。

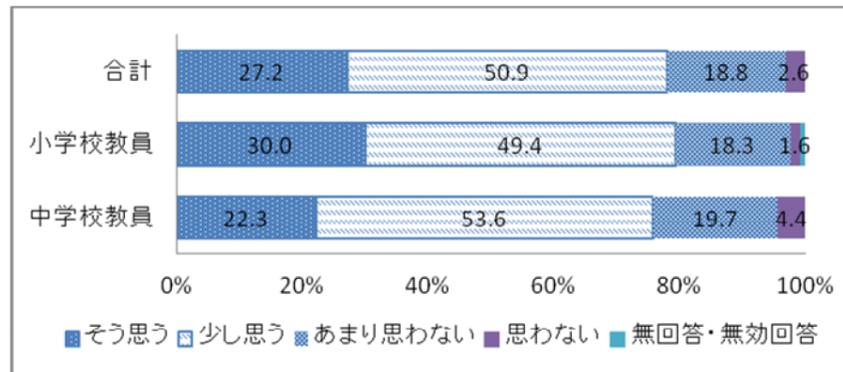
教職員；サマースクールや学習相談、教科相談などを開催して学期途  
中にある長期休業を有効に活用していますか。



全体の70%がサマースクールや学習相談、教科相談などの夏休み中の取  
り組みを有効であると捉えている。特に、小学校で高い評価を得ている。

#### F 行事の見直しについて

教職員；開催時期や目的など行事の見直しを図っていますか。

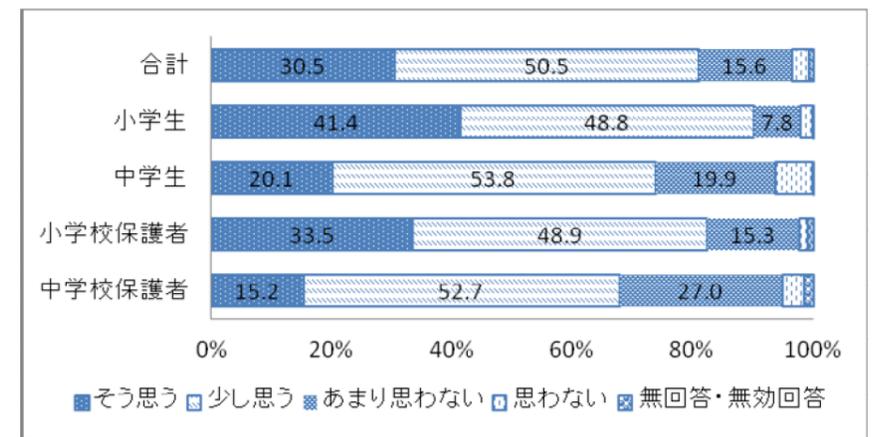


全体の80%近くが、授業時数などの確保のために行事の見直しに努めて  
いる。

#### G 日常の教育活動について

児童・生徒；学校の先生は、みなさんの学力の向上をめざしています。「授  
業がわかる」「授業が楽しい」と思いますか。

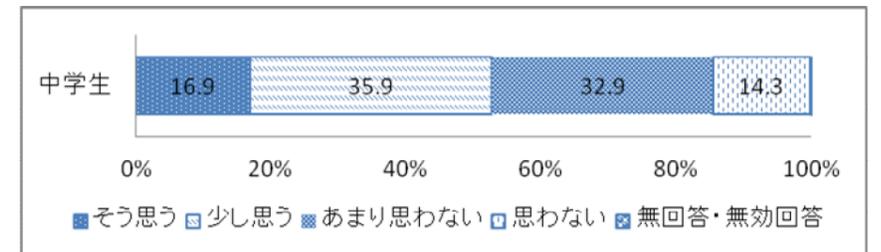
保護者；学校は、授業の充実・教育活動の工夫などを行い、活性化を図  
っていると思いますか。



子どもの70%以上が「授業がわかる」「授業が楽しい」と感じている。  
また、保護者からも高い評価を得ている。

#### H 夏休みの活用について

生徒；夏休み明けの（定期）テストに向けて、夏休みを有効に活用  
できたと思いますか。



約半数の生徒が、夏休み明けの定期テストに向けて、夏休みを有効に活用  
している。

#### 6 自由記述欄の主な意見

##### 【小学校保護者より】

「給食が早く始まり、授業数が増えた。」「2学期制が定着し、学校も落ち  
着いている。」「給食がない日が減るのは歓迎する。」といった意見や「サ  
マースクールをもっと充実させてほしい。」「授業時間数をもっと増やして  
ほしい。」といった意見がある一方、「2学期制のメリットを感じない。」「な  
じめない。日本の風土に合わない。」「通知票が2回になっただけで、他は  
変わっていない。」といった意見がある。

##### 【小学校教職員より】

「時間的な余裕が生まれ、ゆとりをもって教育活動が進められる。」「  
「授業時数を増やすことができ、充実した指導ができる」といった意見が  
ある一方「学期の間が短く、気持ちの区切りや切り替えが難しい。」「長期  
休業が入ると学びの連続性を確保することが難しい。」といった意見があ  
る。

##### 【中学校保護者より】

「ゆとりが生まれる。」「先生との教育相談もしやすい。」といった意見や

「長期休業前に成績・通知票がほしい。」「サマースクールを充実させてほしい。」といった意見がある一方、「定期テストや評価、成績の付け方がわかりにくい。テストの回数が減り、テスト範囲が広がる。」「2学期制は日本の風土に合わない。」といった意見がある。

**【中学校教職員より】**

「所見と面談が分かれるなどして、事務の負担が軽減されている。」といった意見がある一方、「進路指導の面で2学期制は大変になっている。」「2学期制は社会や風土となじまない。」といった意見がある。

—事務局—

小田原市教育委員会 教育指導課

3 3 - 1 6 8 4